



秋田県立大学 学長
こばやし じゅんいち
小林 淳一 氏

新しい農業技術を現場に、必要とされる大学

大学設立から来年で25年。「県民から必要とされ、愛される大学」を目指してきた。多くの教員らが関わる多様なプロジェクトを立ち上げ、県内の企業で活躍する卒業生を多数輩出。人口減少が進む将来を見据え、「県立大なら何かやってくれる。大きな課題に挑戦し、人材を育ててくれる。そんなポテンシャルがある大学だと思ってもらえるよう存在価値を高めていくことが必要だと考えています」。本県の課題解決を目指す中で、力を入れた事業の一つが「スマート農業」。アグリイノベーション教育研究センター（2021年4月設立）では、工学系と農学系の教員が共同で研究している。「分野の壁を乗り越えなければ、農業の現場で求められる技術は生み出せません」。開発した技術を現場で活用してもらうため、22年5月には社会人向け講座「スマート農業指導士育成プログラム」を始めた。本年度は農業関連事業の従事者ら県内外の23人が受講しており、最新の技術を学び現場で指導する「橋渡し役」となることが期待されている。高齢化が進む中山間地域で生産性を向上させることも目指す。



スマート農業の導入により持続可能な秋田の農業を実現

産性を向上させ、利益を地域に配分できれば、地域に活気をもたらすことができます。新しい技術が入った農業の姿を見せることで就農者を増やすことにもつながりたい」。卒業生が口をそろえる大学の魅力は「教員と生徒の距離の近さ」。教員一人当たりの学生数は約8人で、少人数教育を実現している。1、2年生がグループを組み、テーマを定めて1年間研究する「学生自主研究制度」も開学以来の目玉。1グループに対し年間最大15万円の研究資金を交付し、担当教員から助言を受けながら研究をまとめ上げる。試行錯誤の先には達成感があり、学生は難題を乗り越える術を学んでいる。「教育現場では自分で考え課題を解決する力を育てることが求められています。自主研究は最適です。今後はさらに制度を強化しよう」と議論しています」



Akita Prefectural University
秋田県立大学

公立大学法人 秋田県立大学
〒010-0195 秋田市下新城野字街道端西241-438
TEL.018-872-1500
<https://www.akita-pu.ac.jp>
1999年4月1日開学
教育・研究

